



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター

花植えて命の大切さを学ぶ

人権の花運動

5月29日



植えた花に水やりをする園児

人権意識を考える、人権の花運動が小久慈保育園で開催されました。園児15人が人権紙芝居を鑑賞し、プランターへ色とりどりの花を植栽。命の大切さや友達を大切にすることを学びました。上戸鎖聖恵さんは「きれいな花を大事に育てます」と笑顔を見せました。

訓練の成果を競う

久慈市消防操法競技会

5月26日



的に向かって放水する消防団員

久慈市消防操法競技会が6年ぶりに開催されました。各分団から20チーム365人が参加し、ポンプ車の部と小型ポンプの部に分かれ競技。ホースをつなぎ、火の的に向かって放水する手際や時間を競いました。各部門の4位までに入賞した分団が、久慈支部の大会に出場します。

季節を知らせるイワシ水揚げ

久慈漁港のイワシ水揚げ

6月15日



久慈漁港で水揚げされるイワシ

イワシの漁獲が行われていると聞き、久慈漁港を訪問。カモメの鳴き声に包まれる中、船上から鮮度抜群のイワシが網で引き上げられました。初夏のイワシは、塩味の三平汁仕立てがおすすめ。大根おろしや刻みネギ、大葉を添えて、冷でも温でも、旨味が際立つだしを楽しめます。

同世代の新卒者と交流

フレッシューズカフェ

6月11日



笑顔で交流する参加者

県北広域振興局が総合福祉センターでフレッシューズカフェを開催。久慈地域に就職した59人の新卒者が参加し、名刺交換や電話応答の仕方を学びながら交流しました。高村優大さんは「参加者と意気投合して楽しかったです。学びを仕事に生かしていきます」と述べました。

訪れたい公園に

久慈市総合防災公園環境整備

5月28日



ヒノデツツジの苗木を植える参加者

エリカシーランドくじ推進協議会が、令和元年から取り組んでいる防災公園の環境整備を実施。ヒノデツツジ80本の植栽や草取りを行いました。1回目から参加している瀧重吉さんは「整備して、子どもたちや市外の人など多くの人に訪れてほしいです」と思いを語りました。

笑顔・腹式呼吸・体全体で歌おう！

歌い方教室

5月31日



歌い方の指導を受ける参加者

長内市民センターが歌い方教室を開催し、22人が参加しました。長内町在住で、東京でボイストレーナーとして活躍した河野はる美さんが講師を担当。口の開け方や姿勢、呼吸法など学習し、「ふるさと」を歌いました。分かりやすい指導で、参加者に好評でした。(大石)



1/ビールサーバーからペアレンビールをグラスに注ぐ来場者 2/踊りを披露する山口保育園の園児 3/会場を盛り上げたスペシャルゲストのパンクバンド「KINGONS」 4/短角牛とビールを笑顔で楽しむ来場者

祭りを通じて地域を1つに

無形民俗文化財「枝成沢虫まつり」

6月2日



笛や太鼓のおはやしを奏でながら歩く参加者

五穀豊穡と無病息災を願う虫まつりが開催。約60人の参加者は、わら人形を持って町内を練り歩きました。新田修司町内会長は「準備を含め、地域が一体化する行事。他の地域の子も参加してくれて、活気が出ます。着実に伝統をつないでいきたいです」と語りました。

選挙を楽しく学ぶ

明るい選挙啓発授業

6月14日



模擬投票で選挙を体験

岩手県明るい選挙推進協議会久慈支部が、小袖小学校で啓発授業を実施。5、6年生7人がクイズを交えた授業や模擬投票で選挙を楽しく学びました。大向琉斗さんは「選挙のさまざまなルールが分かりました。自分が投票した人が選ばれたらうれしいと思います」と述べました。

まちのわだい

短角牛とビールを味わう

山形村短角牛BBQ&ペアレンビールフェス 6月16日

山形村短角牛とペアレンビールを楽しむイベントが、中町イベント広場で開催されました。

いわてくじ山形村短角牛肥育部会の中屋敷稔部会長が「日本や世界に誇る山形村短角牛を味わい、ペアレンビールに酔いしれてください」とあいさつ。参加者は冷えたビールを片手に、炭火で焼いた短角牛に舌鼓を打ちました。

KUJI街なか音楽祭も同会場で開催。園児や小学生のダンスやさんさ踊り、迫力のバンド演奏が披露され、にぎやかな音楽が会場を彩りました。

市内から訪れた菊池朋希さんは「短角牛はさっぱりしていて、ペアレンのビールとよく合い、最高です」と笑顔を見せました。

本に親しみを

久慈ロータリークラブが図書購入費を寄贈 5月21日



畠山校長(右)に目録を渡す久慈ロータリークラブ下川原章勝会長(左)

久慈ロータリークラブが、宇部中学校に図書の購入費3万円を寄贈しました。インターネットの時代だからこそ、紙の本で活字のよさを認識してほしいと贈られたものです。畠山和彦校長は「図書の充実を図り、生徒にたくさん本に出会ってほしいです」と思いを語りました。

初めての田植えに奮闘

夏井中学校田植え体験

6月5日



生徒たちは「疲れたけど、楽しかった！」と感想を述べました

夏井中学校の1年生11人が、田植えを体験しました。地域の人が水田の用意や指導で協力。生徒たちは、長靴が脱げて裸足になったり、倒れそうになりながらも用意された稲苗「いわてっこ」を丁寧に植え付けました。秋に稲刈りやハセがけ、脱穀作業体験を行います。(梅沢)



八木沢万寿美
リポーター



小渡 正利
リポーター



大石 純夫
リポーター